

氏名 坂井 雄介 (SAKAI Yuusuke)

所属 ソフトウェア情報学部ソフトウェア情報学科

職種 教授

生年月日 1968年3月13日

[履 歴]

[学 歴]

1990年3月 東京農工大学工学部数理情報工学科卒業

1992年3月 東京農工大学大学院工学研究科電子情報工学専攻修了

1994年3月 東京農工大学大学院工学研究科電子情報工学専攻中途退学

[学 位]

工学修士

[職 歴]

1994年4月 青森大学工学部 助手

2002年4月 青森大学工学部 講師

2004年4月 ソフトウェア情報学部 講師

2009年4月 ソフトウェア情報学部 准教授

2019年4月 ソフトウェア情報学部 教授

[受 賞]

[所属学会]

情報処理学会

[教育活動]

[担当科目]

「コンピュータアーキテクチャ」、「オペレーティングシステム」、

「プログラミングワークショップ I・II」、

「開発ワークショップ」、「創作ゼミナール」、「卒業研究」、

「キャリア特別実習 I・II・III・IV」、「地域参加実習 A・B」

[卒業研究指導]

2019年度卒業研究：2名

2020年度卒業研究：6名

2021年度卒業研究：4名

2022年度卒業研究：9名

2023年度卒業研究：4名

[ゼミ指導]

2018 年度創作ゼミナール：2 名
2019 年度創作ゼミナール：6 名
2020 年度創作ゼミナール：5 名
2021 年度創作ゼミナール：10 名
2022 年度創作ゼミナール：5 名

[教育指導に関する特記事項]

- 基礎スタンダード科目群「キャリア特別実習 I～IV」において、学内外の活動に取り組む学生同士が相互に刺激し合い、創発し、学内の他学生とつながる場を作り、本学の基本方針である「地域とともに生きる大学」と「学生中心の大学」の推進につなげる工夫を取り入れている。
- プログラミング関係の演習において、世の中の開発で広く使われているプログラミング言語や環境を選ぶとともに、各々の学生が自身の理解度に応じて学習でき、場所を選ばず使える教材を用いるよう配慮している。

[研究活動]

[研究テーマ]

(1) IoT システム、(2) 人工知能技術の応用

[著書、論文、総説]

- 「エコマネーWeb プラットフォームのドメインモデルの設計」, 小久保温・柏谷至・石橋修・櫛引素夫・坂井雄介・佐々木てる・田中志子, 青森大学附属総合研究所紀要 Vol117(1), pp. 23-31, 2016
- 「郊外型住宅団地の課題と電子エコマネーの可能性 -青森市・幸畑団地の事例-」, 石橋修・柏谷至・佐々木てる・田中志子・小久保温・坂井雄介, 八戸学院大学紀要 Vol. 51, pp. 1-11, 2015
- T.Horibata, Y.Sakai and O.Yamamoto, Efficient Cost Functions for Solving the 8-puzzle with the A* Algorithm based on the Statistics of Distribution of Tiles, Information Vol.10 (2007) 123-130.
- 「8 パズル盤面の距離情報と新評価関数 -マンハッタン距離を科学する-」, コンピュータ&エデュケーション, Vol. 21, 2006, CIEC, 堀端他 (活用事例)

[学会発表]

[その他の活動]

(研究費の獲得状況)

- 青森大学教育研究プロジェクト「学生の主体性に合わせた地域貢献・学内活動の構築・支援、および学修活動との連携に関する研究」（研究分担者，研究代表者：櫛引素夫），2017

[公開講座、講演、セミナー]

- 青森山田高校「特別授業」2023年2月21日
- 青森山田高校「特別授業」2022年9月14日，9月21日
- 五所川原高校「コンピュータのしくみ」2021年12月10日
- 青森山田高校「特別授業」2021年9月15日，11月16日
- 青森山田高校「特別授業」2020年8月25日，9月1日
- 青森山田高校「特別授業」2019年5月21日，28日
- 青森山田高校「特別授業」2018年9月4日，11日

[学内各種委員]

1. 教務委員（2016年度～2019年度、2021年度～）
 2. 3キャンパス・カリキュラム編成準備委員会（2021年度～）
 3. 学修支援センター 運営委員・センター員（2013年度9月～）
 4. 質保証委員会（2020年度～）
 5. 自己点検評価・認証評価審査対策委員（2015年度～）
 6. FD・SD委員（2021年度～）
 7. IR推進センター（2020年度～）
 8. 学生募集タスクフォース（2020年度～2021年度）
- 主に教務委員として、全学としての卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針、及び学修成果の評価に関する方針の整備や具体化に携わっている。また、学修成果の評価を目的とした学修ルーブリック開発や外部試験の導入に関わっている。
 - 主に教務委員の活動として、各キャンパスで教育課程が適切に実施していけるよう、教育課程編成の工夫や科目開講調整などに取り組んでいる。
 - 全学 IR の推進を目的に、教務委員会の活動や学生支援も目的で、様々なデータの分析を行なっている。また、外部研修に参加するなど教学改革や IR に関する資質向上を図っている。
 - 2020年度からは、主に質保証委員会、自己点検評価・認証評価審査対策委員会及び IR 推進センターの活動として、本学の内部質保証に取り組んでいる。